

ナースステーションまごの手

重要事項説明書

(指定訪問看護、指定予防訪問看護)

重要事項説明書

あなた（又はあなたの家族）が利用しようと考えている指定訪問看護サービスについて、契約を締結する前に知っておいていただきたい内容を、説明いたします。わからないこと、わかりにくいことがあれば、遠慮なく質問をしてください。

この「重要事項説明書」は、「青森市指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例（平成25年青森市条例第8号）」第10条の規定に基づき、指定訪問看護サービス提供契約締結に際して、ご注意いただきたいことを説明するものです。

1 指定訪問看護サービスを提供する事業者について

事業者名称	株式会社まご心
代表者氏名	代表取締役 大山 由紀子
本社所在地 (連絡先及び電話番号等)	青森県青森市大字油川字柳川54番8号 電話 017-763-2320 ファックス 017-763-2321
法人設立年月日	平成26年4月1日

2 利用者に対してのサービス提供を実施する事業所について

(1) 事業所の所在地等

事業所名称	ナースステーションまごの手
介護保険指定 事業所番号	0260190343
事業所所在地	青森県青森市沖館5丁目8番5号
連絡先 管理者名	電話 017-763-4720 ファックス 017-763-4721 木村 周子
事業所の通常の 事業の実施地域	青森市（実施地域外の方もご相談ください）

(2) 事業の目的及び運営の方針

事業の目的	事業所の看護師等が、要介護状態（介護予防にあつては要支援状態）にある利用者に対し、適正な指定訪問看護等を提供することを目的とする。
運営の方針	利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努め、可能な限り利用者とその家族がその能力に応じた自立した日常生活を営めるよう、関係各所と緊密に連携しながら療養生活を支援する。

(3) 事業所窓口の営業日及び営業時間

営業日	月曜日 ～ 土曜日
営業時間	8:00 ～ 17:00

(4) サービス提供可能な日と時間帯

サービス提供日	月曜日 ～ 土曜日 ※日曜日は相談に応じる
サービス提供時間	8:00 ～ 17:00

(5) 事業所の職員体制

職	職務内容	人員数
管理者	<ol style="list-style-type: none"> 1 主治の医師の指示に基づき適切な指定訪問看護が行われるよう必要な管理を行います。 2 訪問看護計画書及び訪問看護報告書の作成に関し、必要な指導及び管理を行います。 3 従業員に、法令等の規定を遵守させるため必要な指揮命令を行います。 	常勤 1名
看護職員のうち主として計画作成等に従事する者	<ol style="list-style-type: none"> 1 指定訪問看護の提供の開始に際し、主治の医師から文書による指示を受けるとともに、主治の医師に対して訪問看護計画書及び訪問看護報告書を提出し、主治の医師との密接な連携を図ります。 2 主治の医師の指示に基づく訪問看護計画の作成を行うとともに、利用者等への説明を行い同意を得ます。 3 利用者へ訪問看護計画を交付します。 4 指定訪問看護の実施状況の把握及び訪問看護計画の変更を行います。 5 利用者又はその家族に対し、療養上必要な事項について、理解しやすいように指導又は説明を行います。 6 常に利用者の病状、心身の状況及びその置かれている環境の的確な把握に努め、利用者又はその家族に対し、適切な指導を行います。 7 サービス担当者会議への出席等により、居宅介護支援事業者と連携を図ります。 	常勤 2名
看護職員 (看護師・准看護師)	<ol style="list-style-type: none"> 1 訪問看護計画に基づき、指定訪問看護のサービスを提供します。 2 訪問日、提供した看護内容等を記載した訪問看護報告書を作成します。 	非常勤 1名
理学療法士等	<ol style="list-style-type: none"> 1 訪問看護計画に基づき、指定訪問看護（リハビリテーション）のサービスを提供します。 2 訪問日、提供したリハビリテーション内容等を記載した訪問看護報告書を作成します。 	非常勤 3名

3 提供するサービスの内容及び費用について

(1) 提供するサービスの内容について

サービス区分と種類	サービスの内容
訪問看護計画の作成	主治の医師の指示並びに利用者に係る居宅介護支援事業者が作成した居宅サービス計画（ケアプラン）に基づき、利用者の意向や心身の状況等のアセスメントを行い、援助の目標に応じて具体的なサービス内容を定めた訪問看護計画を作成します。
訪問看護の提供	訪問看護計画に基づき、訪問看護を提供します。 具体的な訪問看護の内容 ① 病状・障害の観察 ② 清拭・洗髪等による清潔の保持 ③ 食事及び排泄等による日常生活の世話 ④ 床ずれの予防・処置 ⑤ リハビリテーション ⑥ ターミナルケア ⑦ 認知症の看護 ⑧ 療養生活や介護方法の指導 ⑨ カテーテル等の管理 ⑩ その他医師の指示による医療処置

(2) 看護職員の禁止行為

看護職員はサービスの提供に当たって、次の行為は行いません。

- ① 利用者又は家族の金銭、預貯金通帳、証書、書類などの預かり
- ② 利用者又は家族からの金銭、物品、飲食の授受
- ③ 利用者の同居家族に対するサービス提供
- ④ 利用者の居宅での飲酒、喫煙、飲食
- ⑤ 身体拘束その他利用者の行動を制限する行為（利用者又は第三者等の生命や身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除く）
- ⑥ その他利用者又は家族等に対して行なう宗教活動、政治活動、営利活動、その他迷惑行為

(3) 提供するサービスの利用料、利用者負担額（介護保険を適用する場合）について

サービス 提供時間数 サービス 提供時間帯		20分未満				30分未満			
		基本 単位	利用料	利用者負担		基本 単位	利用料	利用者負担	
				1割負担	2割負担			1割負担	2割負担
要介護	看護師	314	3,140円	314円	628円	471	4,710円	471円	942円
要支援	看護師	303	3,030円	303円	606円	451	4,510円	451円	902円
サービス 提供時間数 サービス 提供時間帯		30分以上1時間未満				1時間以上1時間30分未満			
		基本 単位	利用料	利用者負担		基本 単位	利用料	利用者負担	
				1割負担	2割負担			1割負担	2割負担
要介護	看護師	823	8,230円	823円	1,646円	1,128	11,280円	1,128円	2,256円
要支援	看護師	794	7,940円	794円	1,588円	1,090	10,900円	1,090円	2,180円

※利用者負担3割の方は、利用料の3割の額を徴収します。

サービス提供時間数は、実際にサービス提供に要した時間ではなく、居宅サービス計画及び訪問看護計画に位置付けられた時間数（計画時間数）によるものとします。なお、計画時間数とサービス提供時間数が大幅に異なる場合は、利用者の同意を得て、居宅サービス計画の変更の援助を行うとともに訪問看護計画の見直しを行いません。

理学療法士等による訪問の場合

理学療法士等による訪問の場合	サービス提供時間数		基本単位	利用料	利用者負担	
	サービス提供時間帯				1割負担	2割負担
	要介護	2回以内/日	294	2,940円	294円	588円
要支援	2回以内/日	284	2,840円	284円	568円	

※利用者負担3割の方は、利用料の3割の額を徴収します。

提供時間	早朝	昼間	夜間	深夜
時間帯	午前6時から 午前8時まで	午前8時から 午後6時まで	午後6時から 午後10時まで	午後10時から 午前6時まで

サービス提供開始時刻が早朝・夜間の場合は、1回につき所定単位数の25/100、深夜の場合は50/100に相当する単位が加算されます。

(4) 加算料金

以下の要件を満たす場合、上記の基本部分に以下の料金が加算されます。

加算	基本単位	利用料	利用者負担		算定回数等
			1割負担	2割負担	
緊急時訪問看護加算Ⅱ (訪問看護ステーション)	574	5,740円	574円	1,148円	1月に1回
特別管理加算(Ⅰ)	500	5,000円	500円	1,000円	1月に1回
特別管理加算(Ⅱ)	250	2,500円	250円	250円	
ターミナルケア加算	2500	25,000円	2,500円	5,000円	死亡日及び死亡日前14日以内に2日以上ターミナルケアを行った場合(死亡月に1回)
初回加算(Ⅰ)	350	3,500円	350円	700円	退院当日に訪問した場合
初回加算(Ⅱ)	300	3,000円	300円	600円	退院翌日から訪問した場合
退院時共同指導加算	600	6,000円	600円	1,200円	1回あたり
看護・介護職員連携強化加算	250	2,500円	250円	500円	1月に1回
看護体制強化加算(Ⅱ)	200	2,000円	200円	400円	1月に1回
複数名訪問加算(Ⅰ)	254	2,540円	254円	508円	複数の看護師等が同時に実施した場合 30分未満(1回につき)
	402	4,020円	402円	804円	複数の看護師等が同時に実施した場合 30分以上(1回につき)
複数名訪問加算(Ⅱ)	201	2,010円	201円	402円	看護師等が看護補助者と同時に実施した場合 30分未満(1回につき)

要介護度による区分なし

	317	3,170円	317円	634円	看護師等が看護補助者と同時に実施した場合 30分以上(1回につき)
長時間訪問看護加算	300	3,000円	300円	600円	1回あたり
中山間地域等に居住する者へのサービス提供加算		基本単位数の5/100加算	左記1割	左記2割	1回あたり

※ 利用者負担3割の方は、利用料の3割の額を徴収します。

※ 緊急時訪問看護加算は、利用者の同意を得て、利用者又はその家族等に対して24時間連絡体制にあつて、かつ、計画的に訪問することとなっていない緊急時訪問を必要に応じて行う場合に加算します。なお、同意書面は別添のとおりです。

※ 特別管理加算は、指定訪問看護に関し特別な管理を必要とする利用者(別に厚生労働大臣が定める状態にあるものに限る。→下段の「かっこ」内に記載。)に対して、指定訪問看護の実施に関する計画的な管理を行った場合に加算します。なお、「別に厚生労働大臣が定める状態にあるもの」とは次のとおりです。

特別管理加算(I)は①に、特別管理加算(II)は②～⑤に該当する利用者に対して訪問看護を行った場合に加算します。

- ① 在宅悪性腫瘍患者指導管理、在宅麻薬等注射指導管理、在宅腫瘍化学療法指導管理、在宅強心剤持続投与指導管理、若しくは在宅気管切開患者指導管理を受けている状態又は気管カニューレ、留置カテーテルを使用している状態
- ② 在宅自己腹膜灌かん流指導管理、在宅血液透析指導管理、在宅酸素療法指導管理、在宅中心静脈栄養法指導管理、在宅成分栄養経管栄養法指導管理、在宅自己導尿指導管理、在宅持続陽圧呼吸療法指導管理、在宅自己疼痛管理指導管理又は在宅肺高血圧症患者指導管理を受けている状態
- ③ 人工肛門又は人工膀胱を設置している状態
- ④ 真皮を超える褥瘡の状態
- ⑤ 点滴注射を週3日以上行う必要があると認められる状態

※ターミナルケア加算は、在宅で死亡された利用者について、利用者又はその家族等の同意を得て、その死亡日及び死亡日前14日以内に2日(末期の悪性腫瘍その他別に厚生労働大臣が定める状態にあるものは1日)以上ターミナルケアを行った場合(ターミナルケアを行った後、24時間以内にご自宅以外で死亡された場合を含む。)に加算します。

※その他別に厚生労働大臣が定める状態にあるものとは次のとおりです。

- イ 多発性硬化症、重症筋無力症、スモン、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、ハンチントン病、進行性筋ジストロフィー症、パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病(ホーエン・ヤールの重症度分類がステージ3以上であつて生活機能障害度がⅡ度又はⅢ度のものに限る)、他系統萎縮症(綿糸体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)、プリオン病、亜急性硬化性全脳炎、ライソゾーム病、副腎白質ジストロフィー、脊髄性筋萎縮症、球脊髄性筋萎縮症、慢性炎症性脱髄性多発神経炎、後天性免疫不全症候群、頸髄損傷及び人工呼吸器を使用している状態
- ロ 急性増悪その他当該利用者の主治の医師が一時的に頻回の訪問看護が必要であると認める状態

- ※初回加算は新規に訪問看護計画を作成した利用者に対し、訪問看護を提供した場合に
加算します。また退院時共同指導料を算定する場合は算定しません。
- ※ 退院時共同指導料は入院若しくは入所中の者に対し、主治医等と連携し在宅生活に
おける必要な指導を行い、その内容を文書により提供した場合に加算します。
また、初回加算を算定する場合は算定しません。
- ※ 看護・介護職員連携強化加算は、たん吸引等を行う訪問介護事業所と連携し、利用
者に係る計画の作成の支援等を行った場合に加算します。
- ※ 看護体制強化加算Ⅱは、利用者への説明・同意を得て医療ニーズの高い利用者へ対
応する体制を整備している場合算定します。
- ※ 複数名訪問看護加算は、二人の看護師等(両名とも保健師、看護師、准看護師又は理
学療法士、作業療法士若しくは言語聴覚士であることを要する。)が同時に訪問看護
を行う場合(利用者の身体的理由により1人の看護師等による訪問看護が困難と認
められる場合等)に加算します。
- ※ 長時間訪問看護加算は、特別管理加算の対象者に対して、1回の時間が1時間30
分を超える訪問看護を行った場合、訪問看護の所定サービス費(1時間以上1時間3
0分未満)に加算します。なお、当該加算を算定する場合は、別途定めた1時間30
分を超過する部分の利用料は徴収しません。
- ※ 中山間地域等に居住する者へのサービス提供加算は、特別豪雪地帯・豪雪地帯地域
に居住している利用者に対して、通常の事業の実施地域を越えて、訪問看護を行っ
た場合に加算します。なお、当該加算を算定する場合は、通常の事業の実施地域を
越える場合の交通費は徴収しません。また、当該加算の算定は、緊急時訪問看護加
算、特別管理加算及びターミナルケア加算を除いた所定単位数に加算します。
- ※ 主治の医師(介護老人保健施設の医師を除く)から、急性増悪等により一時的に頻回
の訪問看護を行う必要がある旨の特別の指示を受けた場合は、その指示の日から14
日間に限って、介護保険による訪問看護費は算定せず、別途医療保険による訪問看
護の提供となります。
- ※ (利用料について、事業者が法定代理受領を行わない場合)全額をいったんお支払
いただきます。この場合、「サービス提供証明書」を交付しますので、「領収書」を
添えてお住まいの市町村に居宅介護サービス費の支給(利用者負担額を除く)申請
を行ってください。

4 その他の費用について

① 交通費	利用者の居宅が、通常の事業の実施地域以外の場合、運営規程の 定めに基づき、交通費の実費を請求いたします。 なお、自動車を使用した場合は、青森市を超えた地点から1km増 す毎に100円をご請求いたします。	
② 死後の処置	10,000円 ※当事業所の訪問看護ご利用者に限ります。	
③ キャンセル 料	サービスの利用をキャンセルされる場合、キャンセルの連絡をい ただいた時間に応じて、下記によりキャンセル料を請求させてい ただきます。	
	訪問までご連絡があった場合	キャンセル料は不要です
	訪問までにご連絡のない場合	1提供当りの料金の 100%を請求いたします。
※ただし、利用者の病状の急変や急な入院等の場合には、キャンセル料は請求いたし ません。		

5 利用料、利用者負担額（介護保険を適用する場合）その他の費用の請求及び支払い方法について

<p>① 利用料、利用者負担額（介護保険を適用する場合）、その他の費用の請求方法等</p>	<p>ア 利用料利用者負担額（介護保険を適用する場合）及びその他の費用の額はサービス提供ごとに計算し、利用月ごとの合計金額により請求いたします。 イ 上記に係る請求書は、利用明細を添えて利用月の翌月10日頃までに利用者宛てにお届け（郵送）します。</p>
<p>② 利用料、利用者負担額（介護保険を適用する場合）、その他の費用のお支払い方法等</p>	<p>ア サービス提供の都度お渡しするサービス提供記録の利用者控えと内容を照合のうえ、請求月の末日までに、下記のいずれかの方法によりお支払い下さい。 (ア) 事業者指定口座への振り込み (イ) 現金支払い イ お支払いの確認をしましたら、支払い方法の如何によらず、領収書をお渡ししますので、必ず保管をお願いします。（医療費控除の還付請求の際に必要となることがあります。）</p>

※ 利用料、利用者負担額（介護保険を適用する場合）及びその他の費用の支払いについて、正当な理由がなく、支払い期日から2月以上遅延し、さらに支払いの督促から14日以内に支払いが無い場合には、サービス提供の契約を解除した上で、未払分をお支払いいただくことがあります。

6 担当する看護職員の変更をご希望される場合の相談窓口について

<p>利用者のご事情により、担当する訪問看護員の変更を希望される場合は、右のご相談担当者までご相談ください。</p>	<p>ア 相談担当者氏名 木村 周子 イ 連絡先電話番号 017-763-4720 同ファックス番号 017-763-4721 ウ 受付日及び受付時間 8:00～17:00</p>
--	--

担当する看護職員に関しては、利用者のご希望をできるだけ尊重して調整を行いますが、当事業所の人員体制などにより、ご希望にそえない場合もありますことを予めご了承ください。

7 サービスの提供にあたって

- (1) サービスの提供に先立って、介護保険被保険者証に記載された内容（被保険者資格、要介護認定の有無及び要介護認定の有効期間）を確認させていただきます。被保険者の住所などに変更があった場合は速やかに当事業者にお知らせください。
- (2) 利用者が要介護認定を受けていない場合は、利用者の意思を踏まえて速やかに当該申請が行われるよう必要な援助を行います。また、居宅介護支援が利用者に対して行われていない等の場合であって、必要と認められるときは、要介護認定の更新の申請が、遅くとも利用者が受けている要介護認定の有効期間が終了する30日前にはなされるよう、必要な援助を行うものとします。
- (3) 主治の医師の指示並びに利用者に係る居宅介護支援事業者が作成する「居宅サービス計画（ケアプラン）」に基づき、利用者及び家族の意向を踏まえて、「訪問看護計画」を作成します。なお、作成した「訪問看護計画」は、利用者又は家族にその内容を説明いたしますので、ご確認いただくようお願いします

- (4) サービス提供は「訪問看護計画」に基づいて行ないます。なお、「訪問看護計画」は、利用者等の心身の状況や意向などの変化により、必要に応じて変更することができます
- (5) 看護職員に対するサービス提供に関する具体的な指示や命令は、すべて当事業者が行ないますが、実際の提供にあたっては、利用者の心身の状況や意向に十分な配慮を行ないます。

8 虐待の防止について

事業者は、利用者等の人権の擁護・虐待の防止等のために、次に掲げるとおり必要な措置を講じます。

責任者を選定しています。

虐待防止に関する責任者	管理者 木村 周子
-------------	-----------

- (1) 虐待の防止のための指針を整備しています。
- (2) 虐待防止のための対策を検討する委員会（テレビ電話装置等を活用して行うことができるものとする）を定期的開催するとともに、その結果について、看護師等に周知徹底を図ります。
- (3) 従業者に対する虐待防止を啓発・普及するための研修を実施しています。
- (4) 成年後見制度の利用を支援します。
- (5) 苦情解決体制を整備しています。
- (6) サービス提供中に、当該事業所従業者又は養護者（利用者の家族等高齢者を現に養護する者）による虐待を受けたと思われる利用者を発見した場合は、速やかに市町村に通報します。

9 秘密の保持と個人情報の保護について

<p>① 利用者及びその家族に関する秘密の保持について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 事業者は、利用者の個人情報について「個人情報の保護に関する法律」及び厚生労働省が策定した「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン」を遵守し、適切な取り扱いに努めるものとします。 ② 事業者及び事業者の使用する者（以下「従業者」という。）は、サービス提供をする上で知り得た利用者及びその家族の秘密を正当な理由なく、第三者に漏らしません。 ③ また、この秘密を保持する義務はサービス提供契約が終了した後においても継続します。 ④ 事業者は、従業者に、業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を保持させるため、従業者である期間及び従業者でなくなった後においても、その秘密を保持すべき旨を、従業者との雇用契約の内容とします。
---------------------------------	---

<p>② 個人情報の保護について</p>	<p>① 事業者は、利用者から予め文書で同意を得ない限り、サービス担当者会議等において、利用者の個人情報を用いません。また、利用者の家族の個人情報についても、予め文書で同意を得ない限り、サービス担当者会議等で利用者の家族の個人情報を用いません。</p> <p>② 事業者は、利用者及びその家族に関する個人情報が含まれる記録物（紙によるものの他、電磁的記録を含む。）については、善良な管理者の注意をもって管理し、また処分の際にも第三者への漏洩を防止するものとします。</p> <p>③ 事業者が管理する情報については、利用者の求めに応じてその内容を開示することとし、開示の結果、情報の訂正、追加または削除を求められた場合は、遅滞なく調査を行い、利用目的の達成に必要な範囲内で訂正等を行うものとします。（開示に際して複写料などが必要な場合は利用者の負担となります。）</p>
----------------------	---

10 緊急時の対応方法について

サービス提供中に、利用者には病状の急変が生じた場合その他必要な場合は、速やかに主治医へ連絡を行う等の必要な措置を講じるとともに、利用者が予め指定する連絡先にも連絡します。

11 事故発生時の対応方法について

利用者に対する指定訪問看護の提供により事故が発生した場合は、応急処置、医療機関への搬送等の措置を講じ、速やかに利用者の家族、居宅介護支援事業者等、市町村に連絡を行います。また、事故の状況及び事故に際してとった処置について記録するとともに、その原因を解明し、再発生を防ぐための対策を講じます。

なお、利用者に対する指定訪問看護の提供により賠償すべき事故が発生した場合は、損害賠償を速やかに行います。

12 身分証携行義務

訪問看護師は、常に身分証を携行し、初回訪問時及び利用者または利用者の家族から提示を求められた時は、いつでも身分証を提示します。

13 心身の状況の把握

指定訪問看護の提供に当たっては、居宅介護支援事業者が開催するサービス担当者会議等を通じて、利用者の心身の状況、その置かれている環境、他の保健医療サービス又は福祉サービスの利用状況等の把握に努めるものとします。

14 居宅介護支援事業者等との連携

① 指定訪問看護の提供に当り、居宅介護支援事業者及び保健医療サービスまたは福祉サービスの提供者と密接な連携に努めます。

- ② サービス提供の開始に際し、この重要事項説明に基づき作成する「訪問看護計画」の写しを、利用者の同意を得た上で居宅介護支援事業者に速やかに送付します。
- ③ サービスの内容が変更された場合またはサービス提供契約が終了した場合は、その内容を記した書面またはその写しを速やかに居宅介護支援事業者に送付します。

15 サービス提供の記録

- ① 指定訪問看護の実施ごとに、そのサービスの提供日、内容及び利用料等を、サービス提供の終了時に利用者の確認を受けることとします。また利用者の確認を受けた後は、その控えを利用者に交付します。
- ② 指定訪問看護の実施ごとに、サービス提供の記録を行うこととし、その記録はサービス完結の日から2年間保存します。
- ③ 利用者は、事業者に対して保存されるサービス提供記録の閲覧及び複写物の交付を請求することができます。
- ④ 提供した指定訪問看護に関し、利用者の健康手帳の医療の記録に係るページに必要な事項を記載します。

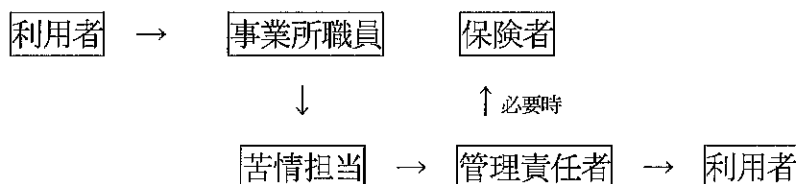
16 衛生管理等

- ① 看護職員の清潔の保持及び健康状態について、必要な管理を行います。
- ② 指定訪問看護事業所の設備及び備品等について、衛生的な管理に努めます。

17 サービス提供に関する相談、苦情について

(1) 苦情処理の体制及び手順

- ア 提供した指定訪問看護に係る利用者及びその家族からの相談及び苦情を受け付けるため の窓口を設置します。(下表に記す【事業者の窓口】のとおり)
- イ 相談及び苦情に円滑かつ適切に対応するための体制及び手順は以下のとおりとします。



(2) 苦情申立の窓口

【事業者の窓口】 ナースステーション まごの手	所在地 青森市沖館5-8-5 電話 017-763-4720 ファックス 017-763-4721 受付時間 8:00~17:00
【市町村(保険者)の窓口】 青森市福祉部介護保険課	所在地 青森市新町1-3-7 電話 017-734-5257 ファックス 017-734-5355

【公的団体の窓口】 青森県国民健康保険団体連合会	所在地 青森市新町2-5-1 電話 017-723-1301 ファックス 017-723-1088
-----------------------------	---

18 重要事項説明の年月日

この重要事項説明書の説明年月日	令和 年 月 日
-----------------	----------

上記内容について、「青森市指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例（平成25年青森市条例第8号）」第10条の規定に基づき、利用者に説明を行いました。

事業者	所在地	青森県青森市大字油川字柳川54-8
	法人名	株式会社まご心
	代表者名	大山 由紀子
	事業所名	ナースステーション まごの手
	説明者氏名	印

上記内容の説明を事業者から確かに受けました。

利用者	住所	
	氏名	印
代理人	住所	
	氏名	印

(附則)

この規定は令和元年11月16日から施行する。

(附則)

この規定は令和3年4月1日から施行する。

(附則)

この規定は令和6年6月1日から施行する。